

2022年度課題図書を紹介

第 68 回青少年読書感想文コンクール

課題図書紹介

全国SLA SLS 藤田 2022年4月23日作成

中学校の部

課題図書 書名・著者・出版社・税込価格等	生徒向け紹介文	感想の視点と指導のポイント
<p><b>セカイを科学せよ！</b> 講談社 安田夏菜／著 1,540円</p>	<p>超虫好きの山口葉奈に周りは圧倒されます。科学部電脳班のミハイルがこの葉奈に翻弄されるとは・意外な物語の展開にくぎ付けになることでしょう。しかし、その中には、梨花の変容や電脳班の協力など、多くの要素が盛り込まれていて小気味よさも感じます。葉奈の対決に同調する部員たち。さて、校長先生をどう説得するのでしょうか。</p>	<p>「科学部」というくくりで物語が展開。「生物班」の山口葉奈は奇想天外な行動を起こす虫博士。「電脳班」は迷惑に感じますが、ミハイルを中心に次第に生物班に介入。学校からの課題に「科学部」として協力しながら、考え方や互いの行動を改めていく過程が描写されています。</p>
<p><b>海を見た日</b> 鈴木出版 M・G・ヘネシー／作 1,760円</p>	<p>ナヴェエア、ヴィク、クエンティンのそれぞれの視点で物語は展開します。3人の共通点は里親であるミセス・Kのもとで生活していること。マーラも加わって、各々事情を抱えながら過ごしますが、ある日、クエンティンの母親を探すために冒険に出発。事故に出会い、本音をぶつけ合いながらも助け合う4人。その描写に惹かれることでしょう。</p>	<p>自分の目標のために献身的に尽くすナヴェエア。父親の存在を信じ、夢を抱くヴィク。母に会いたいクエンティン。里親の元に置かれた子どもの揺れ動く気持ちが繊細に描かれています。4人の異なる境遇は、アメリカにおける里親制度の問題にもつながっているようです。</p>
<p><b>江戸のジャーナリスト 葛飾北斎</b> 国土社 千野境子／著 1,540円</p>	<p>北斎は日本を代表する絵師ですが、その生涯には驚くことも多いようです。93回も引っ越しをしたと言われていることや妥協しない生き方など、北斎の生き様を丁寧に伝えています。お栄をはじめ、周囲の人たちとの関わり方にも興味深いものがあります。没後170年以上がたっているのに、今もその作品が愛される理由はどこにあるのでしょうか。</p>	<p>この本は北斎を多面的に見て、筆者の考えも盛り込んで書かれています。北斎の生きた時代や境遇、考え方などが詳細に紹介されていて、作品だけでなくその背景にあるものを探ることができそうです。伝記というよりは、北斎の作品に対する思いや生き方を考える本になりそうです。</p>